# 2012年度 決算説明会

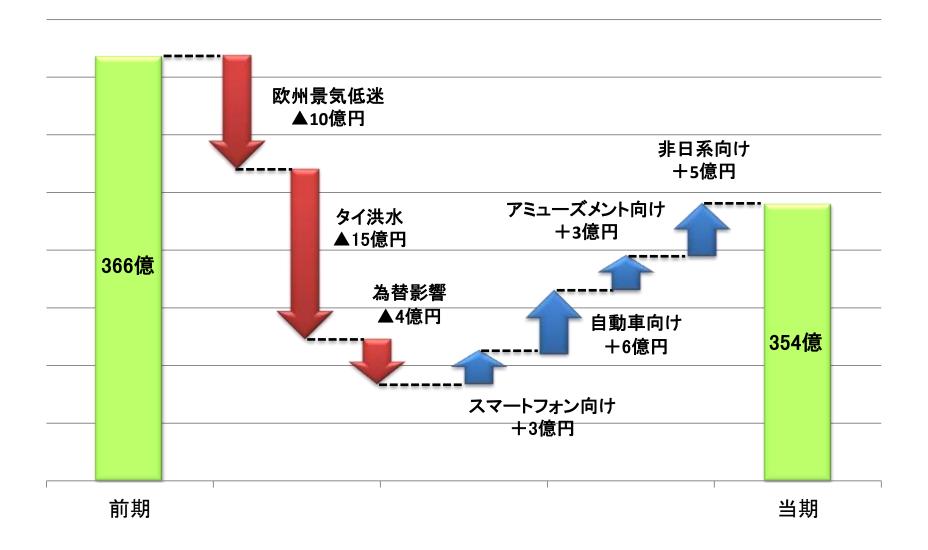


2012.10.16

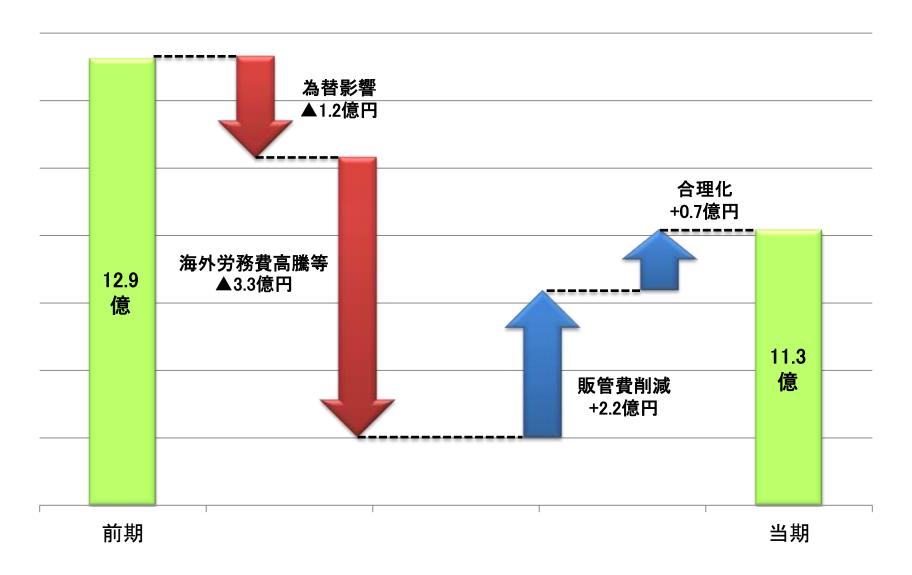
# 2012年 連結業績の内容

(単位:百万円)	2011年	2012年	増減額	増減率	主し古、阪州早年の低
<b>売</b> 上 高	36,649	35,462	△1,186	△3.2%	売上 高: 欧州景気の低 迷、タイ洪水の発生、長 引く円高の影響により、 総じて売上高は減少と
売 上 総 利 益	7,238	6,851	△387	△5.3%	なりました。
(構成比)	(19.8%)	(19.3%)			営業利益:売上減少に 伴い売上総利益が減少
営 業 利 益	1,290	1,130	△159	△12.3%	したため、販管費を抑制 したが、営業利益は減
(構成比)	(3.5%)	(3.2%)			少となりました。
経 常 利 益	883	1,183	299	34.0%	経常利益: 国内の外貨 建資産の為替差損が差
(構成比)	(2.4%)	(3.3%)			建貝座の場合を頂が是 益に転換し、増益となり ました。
決算レート(US\$)	80.73円	79.31円			

# 売上高の増減要因



## 営業利益の増減要因



#### 特別損益の内訳

(単位:百万円)

(+ 12 · 11 / 11 /	
特別利益	
固定資産売却益	33
保険差益	294 •
(保険金収入)	(855)
(タイ災害損失)	( <b>△</b> 561)
その他	10
特別利益合計	338
特別損失	
固定資産除売却損	32
有価証券評価損	201 🔨
事業再構築損失	967
(減損損失)	(626) <b>•</b>
(特別退職金)	(288)
リース解約損	65
その他	50
特別損失合計	1,317
損益合計	△979

#### Point(1)

タイの洪水被害による、災害損失561百万円、保険金収入855百万円の差額294百万円を、保険差益として計上しました。

#### Point2

一部有価証券の評価損として、201百万円を計上しました。

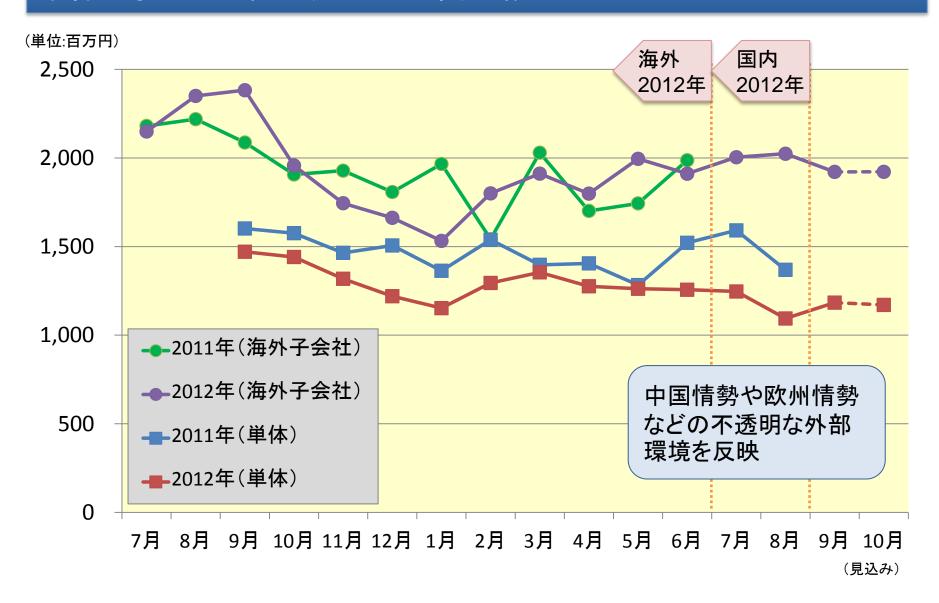
#### Point3

国内合理化に伴う固定資産(建物・土地・設備)の減損処理として、626百万円を計上しました。

#### Point4

国内合理化に伴う特別退職金として、288百万円を計上しました。

#### 単体・海外子会社の月次売上高の傾向



# 2012年 単体の業績

(単位:百万円)	2011年	2012年	増減額	増減率
売 上 高	17,553	15,387	△2,166	△12.3%
売 上 総 利 益	3,485	2,990	△495	△14.2%
(構成比)	(19.9%)	(19.4%)		
営業利益	△56	△269	△213	<b></b> %
(構成比)	(—%)	(—%)		
経常利益	907	1,011	104	11.4%
(構成比)	(5.2%)	(6.6%)		

# 所在地別セグメント情報(日本)

(単位:百万円)	2011年	2012年	増減額	増減率
外部顧客売上高	13,573	12,491	△1,082	△8.0%
セグメント間の 内部売上高	4,547	3,627	△920	△20.2%
計	18,121	16,119	△2,002	△11.0%
営業費用	18,174	16,380	△1,794	△9.9%
営業利益	△52	△261	△209	-%
(営業利益率)	(—%)	(-%)		

<sup>(</sup>注)日本地域には国内子会社1社が含まれています。

#### 一部日系顧客の事業縮小が影響しました

# 所在地別セグメント情報(東南アジア)

(単位:百万円)	2011年	2012年	増減額	増減率
外部顧客売上高	8,923	7,979	△944	△10.6%
セグメント間の 内部売上高	163	141	△22	△13.5%
計	9,086	8,121	△965	△10.6%
営業費用	8,936	8,139	△797	△8.9%
営業利益	149	Δ17	△166	<b>-%</b>
(営業利益率)	(1.6%)	(-%)		

# タイの洪水の影響を大きく受け、減収減益となりました

## 所在地別セグメント情報(中国)

(単位:百万円)	2011年	2012年	増減額	増減率
外部顧客売上高	12,604	13,233	629	5.0%
セグメント間の 内部売上高	1,161	708	△453	△39.0%
計	13,765	13,942	177	1.3%
営業費用	13,276	13,380	104	0.8%
営業利益	489	562	73	14.9%
(営業利益率)	(3.6%)	(4.0%)		

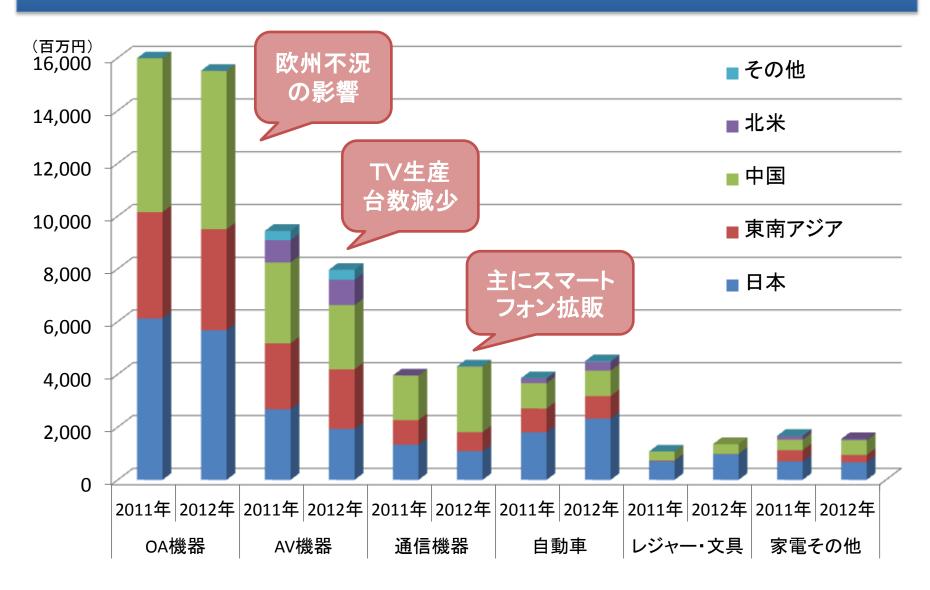
# スマートフォン関連の下支えがあり、増収増益となりました

# 所在地別セグメント情報(北米)

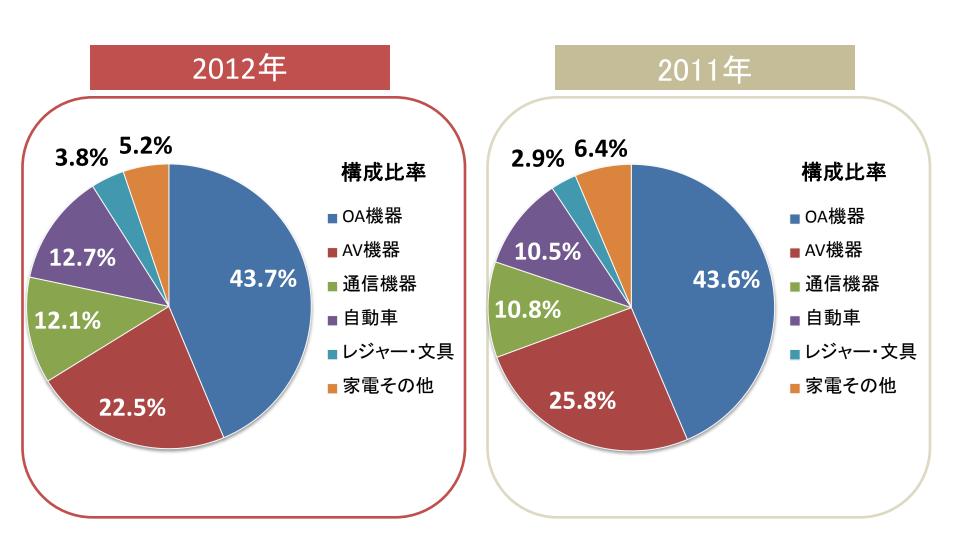
(単位:百万円)	2011年	2012年	増減額	増減率
外部顧客売上高	1,175	1,349	174	14.8%
セグメント間の 内部売上高	64	4	△60	△93.8%
計	1,240	1,353	113	9.1%
営業費用	1,288	1,208	△80	<b>△</b> 6.2%
営業利益	△48	144	192	-%
(営業利益率)	(-%)	(10.6%)		

# 北米向け車載品、大型TVの受注が堅調に推移しました

#### 業種別売上高の前期比較(連結)



### 主要業種の構成比(連結)



#### 設備投資と減価償却費

(単位:百万円)	2011年	2012年	2013年 予測
【設備投資】			
日本	340	292	100
海外	509	861	1,400
合計	850	1,154	1,500
【減価償却費】	1,281	1,174	1,100

<u>2012年の設備投資内訳(主なもの)</u>

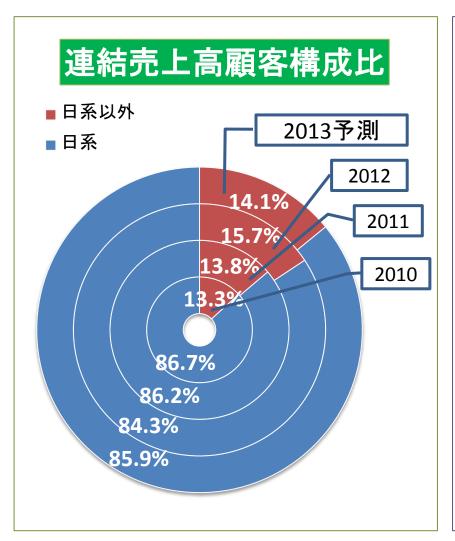
(単位:百万円)

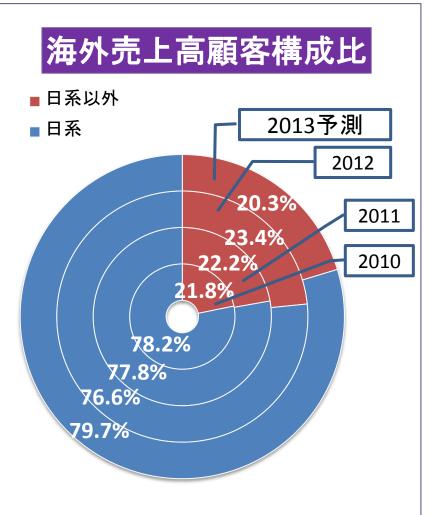
-機 械 設 備: 802

<u>2013年の設備投資内訳(主なもの)予定</u> (単位:百万円)

-機 械 設 備: 800

#### 日系資本以外の顧客の推移





# 2013年8月期連結業績見通し

	12年8月期	13年8月期				
単位:	実績	予想	増減額 増減率		備考	
百万円	(構成比)	(構成比)				
売 上 高	35,462	36,000	538	1.5%	中国情勢および欧州の市場動向を勘案 し、非日系顧客を中心とした拡販活動等 を推進する。	
売 上	6,851	7,200	349 5.1%		生産性向上活動の継続により増益を見	
総利益	(19.3%)	( 20.0%)	0 <del>1</del> 9	J.170	込む。 	
24 4k ±1 <del>14</del>	1,130	1,400	070		合理化による販売管理費の抑制、管理	
営業利益	(3.2%)	( 3.9%)	270	23.9%   部門の業務効率改善等を促進し   を見込む。		
奴 告 刊 <del>光</del>	1,183	1,300	117	0.00/		
経常利益 	(3.3%)	( 3.6%)	117	9.9%		
当期	102	800	000	00.4.00/		
純 利 益	(0.3%)	( 2.2%)	698   684.3%			
為 替 レ ー ト	79.31円/US\$	80円/US\$				

#### 本資料の取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に 基づき当社が判断したものであります。

その見通しは世界経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。

実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる 可能性もありますことをご承知おきください。